****

One More Paragraph!

- 福音主義的思索のひととき -

****

"New Dimension in Evangelical Thought"by D.S.Dockery, Editor

ディビッド・ドッカリー編集による

「福音主義的思索における新しい次元」

Chapter 2. Millard J. Erickson : Theologian for the Church

第２章　ミラード・Ｊ・エリクソン：教会のための神学者

ndet.02000000

序

****

こんにちは、関西聖書学院組織神学教師、一宮基督教研究所の安黒務です。今日から始まります「One More Paragraph！」の新しいシリーズ「 - 福音主義的思索のひととき - 」について説明させていただきます。

一年半かけて、ミラード・Ｊ・エリクソンの「キリスト教神学」の第一巻の翻訳・推敲を終えまして、幾つかの新しいシリーズの取り組みを模索してまいりました。そのひとつが「エリクソンとその神学」についての包括的な理解を与えてくれる三つの論文の紹介です。

第一の論文、ディビッド・ドッカリーの「ミラード・Ｊ・エリクソン：教会のための神学者」は、エリクソンの生涯と彼の主著であります「キリスト教神学」の要点と概略をよくまとめています。

第二の論文、アーノルド・ファスタッドの「ミラード・Ｊ・エリクソンの業績に関する文献的エッセイ」はエリクソンの数々の著作の背景や経緯や展開を順番に解説しているものです。

第三の論文、ウィリアム・ホーダーンの「ミラード・Ｊ・エリクソンへの賛辞」は、エリクソンの学びの遍歴、特に「新福音主義神学」に関連した分析がなされています。

書籍においては、第三の、ウィリアム・ホーダーンの論文が最初に紹介されているのですが、分かりやすさの順番と、彼の主著「キリスト教神学」そのものについての紹介を最初に扱うのが、一番良いと判断して、この順番で翻訳・解説をしていきたいと思います。

主が、この学びを通して、ミラード・Ｊ・エリクソンの主著「キリスト教神学」を愛読される方々に、わたしたちが目指すべき「福音主義的思索」とはいかなるものかを明らかにしてくださいますように。アーメン！